



令和元年度 市長と語る会

水木しげるロードリニューアル完成記念式典

START

水木しげるロードリニューアル完成記念式典
(平成30年7月14日)



【資料構成】

I 規律ある行財政運営と協働の推進

- ①規律ある行財政運営
- ②協働のまちづくりの推進

II 経済の活性化と都市基盤整備

- ③中海・宍道湖・大山圏域の連携
- ④環日本海交流の推進
- ⑤外国人材との共生
- ⑥観光の振興
- ⑦水産業の振興
- ⑧農業・商工業の振興
- ⑨渡漁港周辺整備事業
- ⑩竹内南地区貨客船ターミナル整備
- ⑪道路・橋りょう等の整備
- ⑫夕日ヶ丘団地の市街化促進
- ⑬危険空家対策
- ⑭公共下水道事業
- ⑮防災対策
- ⑯道路除雪
- ⑰危険ブロック塀の安全対策
- ⑱環境施策

III 市民一人ひとりを大切にする教育と福祉の充実

- ⑲学校教育の充実
- ⑳社会教育
- ㉑子育て支援の充実
- ㉒高齢者福祉の充実
- ㉓健康づくりの推進



規律ある行財政運営

●令和元年度当初予算の規模は過去最大

当初予算額：173億円（2番目 H13:161億7千8百万円）

※主な要因：市民交流センター（仮称）建設開始（H31～R3）

同時に、市民生活に根差したサービスは、しっかりと堅持しつつ、「境港市まちづくり総合プラン」に基づき、産業振興、教育環境の充実、子育て支援、健康づくりや福祉の充実などに最大限配慮して編成。

●徹底した行財政改革と規律ある行財政運営の成果と現状

⇒市債残高・公債費の減少、基金残高の増加（財政の健全化）

◇市債残高（臨時財政対策債除く）

H14末：約171億5千万円 ⇒ R1末見込：約69億9千万円（▲59%）

◇公債費

ピーク時（H20）の18億円と比較して、R1は13億6千万円（▲24%）

※今後も適正管理に努めることにより順調に減少

◇基金残高

H14末：約20億9千万円 ⇒ H30末見込：約38億6千万円（+85%）

◇土地開発公社の負債額

H16末：57億7千万円 ⇒ H30末：35億1千万円（▲39%）

協働のまちづくりの推進

広がる活動の輪



「それぞれの特性を生かしてよりよいまちづくり」
「地域課題を解決していくための対等なパートナー」

- ◆クロマツの植樹
- ◆地域の見守り活動
- ◆公園の維持管理
- ◆伯州綿栽培サポーター

渡地区ケヤキ並木清掃活動



中海・宍道湖・大山圏域の連携

新たな取り組み

- ◆台湾・台北市との交流促進に関する覚書の締結、海外展開に向けたセミナーの開催
- ◆中国横断新幹線（伯備新幹線）の実現に向けた、推進組織の設立
- ◆移住定住を促進する島根大学との共同プロジェクトの実施

環日本海交流の推進

「環日本海国際フェリー航路」

- ◆ 圏域と対岸諸国をつなぐ「海の道」として定着

「境港は欠かすことのできない存在」

- ◆ インバウンドや貿易の拠点
- ◆ 圏域の観光・経済活動

「ソウル便」「香港便」が好調に推移

- ◆ 米子鬼太郎空港の利用促進

境港～東海(韓国)～ウラジオストク(ロシア)



- ◆ ソウル便: 週6便化 (平成30年10月～)
- ◆ 香港便: 週3便化 (平成30年12月～)

外国人材との共生

「技能実習生との交流事業」

- ◆ 境港市に居住する外国人 498人
※うち技能実習生は299人 (H30. 12)
- ◆ 日本語教室の開催 (H31. 2～隔週日曜に開催)
日本人ボランティアによる学習サポート

観光の振興

《水木しげるロード》

- 官民あげた賑わいの創出
民間組織との連携

《水木しげる記念館》

- 水木しげる記念館あり方検討会
老朽化が進む水木しげる記念館の今後のあり方を検討

《広域観光》

- 中海・宍道湖・大山圏域観光局の設立

《クルーズ客船の寄港》 クイーン・エリザベス号が初寄港

- 今年度57回寄港予定 ※昨年度:37回寄港 約6万1千人の来訪



水産業の振興

市場シンボルマーク

●平成30年 境漁港の実績

- ◇水揚量 **全国第5位** (11万5千トン余)
 - ◇水揚金額 **全国第6位** (217億8千万円余)
- 水揚金額は、4年連続で200億円超



県事業

境漁港の高度衛生管理型漁港・市場整備

最優秀キャッチフレーズ「安心と安全が、進化するみなと」

- ◇一号上屋や陸送上屋の供用開始(令和元年6月)
 - ◇市は新たに必要となる資機材の導入を支援
- 衛生管理が行き届いた市場から、新鮮な水産物を出荷

●魚食普及・水産PR

- ◇子ども達の体験事業
フィッシュキッチン、おさかな探検、中野港漁師と園児の交流
- ◇第8回みんなで選ぶ境港の水産加工大賞

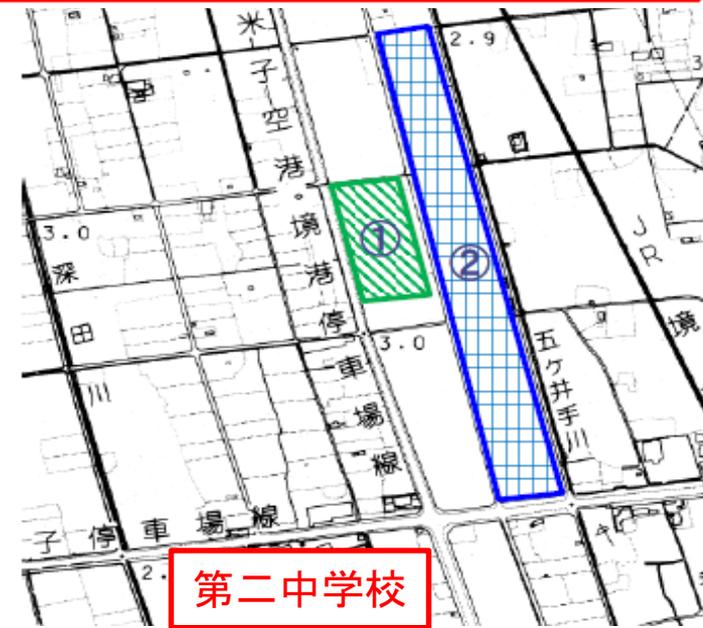
農業・商工業の振興

事業実施予定面積：2.5ha
※景観、環境、防犯などの観点も加え選定
①余子地区産業中央線沿線(1.2ha)
②五ヶ井手川沿い(このうち1.3ha)

●農地耕作条件改善事業

- 農地基盤整備により荒廃農地を再生
- 再生農地を「農地中間管理機構」が借受
- まとまりある農地として担い手農家等へ貸付

⇒農地の集約化による生産性の向上を図り
効率的な営農を実現



●伯州綿

- 伯州綿栽培サポーター(市民との協働)
- おくるみ(新生児)、ひざかけ(100歳)の贈呈(子育て、高齢者支援)
- 地域おこし協力隊(栽培・製品開発・情報発信)
- 小学校や高校等での体験や学習(地域資源の活用)

⇒伝統的地域資源を後世へ継承

●「企業誘致・商工振興施策」

- 企業誘致活動

鳥取県と連携し、3つの港(漁港、港湾、空港)を積極的にPR



渡漁港周辺整備事業

旧漁港周辺道路改良工事(R1)
旧漁港周辺道路舗装工事(R2)
多目的広場整備(R2)

内水排除施設整備(R1)
※土木工事

樋門整備
(H30完成)

渡84号線道路整備(R2)
L=367.6m

渡84号線道路整備(R1)
L=136.0m
※舗装工事

完成
L=416.8m

渡84号線道路整備(R1)
L=330.0m

竹内南地区貨客船ターミナル整備

2020年春供用開始予定

「境夢みなとターミナル」完成イメージ



○国内唯一の日・韓・ロを結ぶ国際定期貨客船(DBSクルーズフェリー)や国内RORO船、大型クルーズ船などに対応した物流・人流ネットワークの拠点として、**機能集約化した旅客・物流ターミナル整備**を2020年春の供用を目指して実施中！



【国土交通省直轄実施】

- ◆岸壁 (-10m) L=280m
- ◆泊地 (-10m) 浚渫

【境港管理組合実施】

- ◆旅客ターミナル上屋整備
- ◆ふ頭用地整備

大型クルーズ船



貨物船(RORO船)



国際フェリー

道路・橋りょう等の整備

- ・道路側溝の改修
- ・通学路安全対策
- ・狭あい道路拡幅整備
- ・舗装、橋りょうの修繕
- ・交通安全施設整備
(防犯灯、カーブミラー、区間線等)
- ・夕日ヶ丘防犯灯整備
(幹線道路に防犯灯をH30から5ヶ年で整備)

道路側溝の改修



【竹内町】狭あい道路拡幅整備(拡幅前)



狭あい道路拡幅整備(拡幅後)



夕日ヶ丘団地の市街化促進

●定期借地権制度

◇契約数**207**件 (H31.3末現在)

うち市外・県外者は**72**件 (約35%)

子育て世代(20代~40代)は**170**件 (約82%)

移住定住の促進、市外流出の抑止に貢献

子育て住環境の充実に貢献

《夕日ヶ丘地区》

年月	人口	世帯数
H21.05 (定借前)	875	290
H31.03	1,902	629
増減	+1,027	+339

※定期借地権導入H21.06

危険空家対策 (平成30年度:4件解消)

倒壊のおそれがあるなど危険な空家50件を「**特定空家**」に認定。このうち41件が解体・修繕済。残りの特定空家は9件

自治会の協力により調査を行い、新たに29件を認定予定。合わせた38件について、早期の解消に努めます。



防災対策

【啓発活動(防災意識の高揚に向けて)】

- 出前説明会(随時)、講演会の実施

【防災訓練(実効性の確保に向けて)】

- 原子力防災訓練の実施(秋頃)
- 津波避難訓練の実施(自治連と連携して実施)

【地域防災力の強化】 消防団員募集中!!

- 消防団と自主防災組織の連携・強化による地域防災力の向上
- 自主防災組織の支援と組織率の向上への取り組みを継続

【安定ヨウ素剤の事前配布(希望者)】

原子力災害対策の一環として、緊急時に公民館等の一時集結所で安定ヨウ素剤の受け取りが困難な方等で、医師等の問診により、服用に問題ない「希望者」に事前配布します。

※安定ヨウ素剤は、放射性物質のうち「放射性ヨウ素」による内部被ばくを低減する効果があります。



『連携して“減災”に
取り組みましょう。』



道路除雪

より丁寧な除雪ができるよう見直し

《平成30年度の見直し内容》

除雪範囲の拡充 ⇒ 除雪能力の拡充

- ・除雪機械を増強 15台⇒22台
- ・除雪委託業者を増強 9社⇒14社
- ・幹線道路交差点内の除雪を追加(段差解消)
- ・バスのすれ違いのための待避所を確保

《新たな取り組み》

除雪機械運転手育成支援

◇除雪従事者の大型特殊免許等の取得費用を助成

危険ブロック塀の安全対策

危険性の高いブロック塀の撤去・改修への補助制度を創設

対象となるブロック塀：不特定の者が通行する道に面する高さ60cm以上のコンクリートブロック塀、石積塀、レンガ塀 ※ただし点検票により危険性が確認されたものが対象



点検票の入手方法

建築営繕課窓口
各地区公民館
市ホームページ

H28年度から米子市に可燃ごみの処理委託を開始。順調に搬入ができています。

【ごみの減量化・資源化】

米子市可燃ごみ処理委託量

H29年度：8,154トン

H30年度：8,002トン約1.87%減

今後もごみの減量化・分別資源化を推進

【地区別側溝清掃事業】

- ・平成28年度で市内全地区を一巡
- ・今後もより効率的な側溝清掃を実施

※令和元年度は、余子・中浜地区

※清掃後の蓋のがたつきにはゴム板を設置

【ごみ情報特設サイト】

6月開設予定

地域毎のごみ種別の収集日や、清掃センターからの情報を配信。





社会教育

基本理念：市民が集い、安心できる、交流と防災の拠点づくり

●境港市民交流センター(仮称)整備事業【防衛省補助事業】

◆2019年度(今年)

- ・建設工事着手(工期:24ヶ月)
- ・管理運営の具体化に向けた検討

外観イメージ



内観イメージ



●境港で初開催

2019 レーザー級世界選手権大会

- ・男子 6月26日~7月 9日 160艇
- ・女子 7月11日~7月24日 120艇

●クロアチアセーリングレーザーチーム

- ・昨年から2020年まで3ヶ年本市でキャンプ実施
- ・今年は6月と9月 2回予定



●保育サービスの充実

①幼児教育の無償化スタート

10月より保育所、幼稚園、認定こども園等の保育料が無償
〔対象 すべての3歳以上児、0歳から2歳の低所得世帯〕

②保育ニーズへの対応

本年4月1日の待機児童0人
休日保育(大型連休中も開設)、病児病後児保育など

③園児の成長発達を応援

食育活動、アートスタート事業など

●妊娠期～子育て期まで切れ目のない支援

①子育て世代包括支援センター

専門職員を配置し、すべての妊産婦の方と面談

②子育て支援センター2施設(ひまわり、きらきら)

子育て相談への対応、絵本の読み聞かせのほか
乳幼児が安心して遊ぶことができる施設

③子育て世代訪問支援事業

子育てに悩みを抱えている家庭を保育士OBが訪問し、
不安の軽減を図り、子育てに自信を持ってもらう



高齡者福祉の充実

高齡者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくり

健康寿命の延伸

＜社会参加＞ 介護支援ボランティアポイント制度の導入

＜運動＞ いきいき百歳体操の普及

＜栄養＞ 低栄養の予防に関する講話

☞フレイルサポーターの養成・

フレイルチェックの実施

認知症対策

- 「事前登録制度」の導入
- 幅広い年代の認知症サポーターを養成
- 「おれんじカフェさかいみなと」の開催
- 認知症予防サークルの活動支援

地域包括ケア体制の構築

- 地域ケア会議で生活課題の解決策等を検討
- 高齡者見守り体制の構築・普及



[東京大学高齡社会総合研究機構：飯島勝矢監修予防ハンドブックより]

高齡者に関する総合相談窓口「境港市地域包括支援センター」
さまざまなお相談に応じます。お気軽にご連絡ください。

(市役所本庁舎1階 電話0859-47-1131)

《境港市健康づくり推進計画(平成31年2月策定)》

- **計画期間** 令和元年度～令和6年度
- **基本目標** 心身ともに元気でいきいきと暮らし健康寿命をのばそう
- **基本方針** 食育を通じた健康づくり (食育推進計画)
生活習慣病予防のための健康づくり (健康増進計画)
こころの健康づくり (自死対策計画)

《今年度からの新たな取り組み》

◆産後うつ予防

(出産後間もない時期に、産後うつ検査を取り入れた産後健康診査を実施)

◆成人歯科検診

(疾患の早期発見や治療のため、成人期の節目年齢の方を対象に、歯周病検診を実施)

◆骨密度検査

(骨折予防に繋げるため、節目年齢の女性の方を対象に、骨密度検査を実施)

